

Think globally, Act locally

自分の足下を掘り下げること
世界に羽ばたく自分をイメージすること

1 **大宮の意味と起源**

2 **世界のウチナーンチュ大会**

「もう一つのオキナワ」

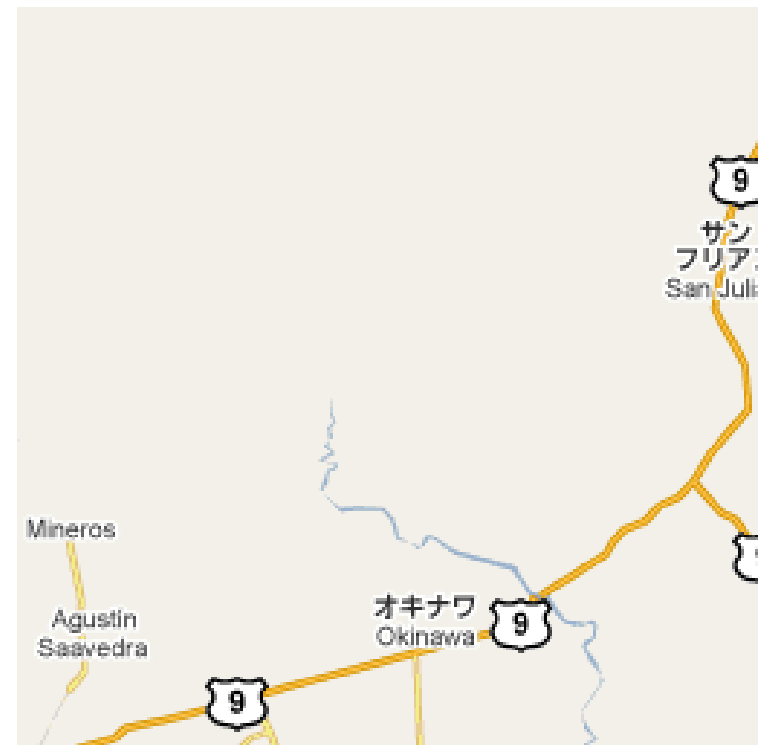
名護市立大宮小学校 校長 比嘉 悟



ボリビアまでの旅

- 名護 → (1時間30分) 那覇空港
- 那覇 → (2時間30分) 成田空港
- 日本 → (10~11時間) アメリカ・ロス
- ロス → (3~4時間) マイアミ
- マイアミ → (7~8時間) ラパス
- ラパス → (4~5時間) サンタクルス
- サンタクルス → (2時間)
コロニアオキナワ

実は、ボリビア国の地図には



地球の反対側に . . .

もう一つのオキナワがある . . .



ボリビアという国



☆公用語	スペイン語、ケチュア語、 アイマラ語、グアラニー語
☆首都	スークレ、ラパス
☆面積	日本の約3倍
☆人口	約1000万人
☆宗教	国民の95%がローマ・カトリック

☆民族構成 ケチュア族、アイマラ族のインディヘナ（先住民）55%、
メスティソ（先住民とスペイン人の混血）32%、ヨーロッパ系
12%、そのほか1%

☆日本との時差 13時間

ボリビア移民の歴史

- 戦後移民
- 沖縄中から希望者が殺到
- 夢と希望に満ちあふれた宣伝文句
- 一家族50haの土地
- 1954年、第一次移民団が沖縄を出発

夢と希望を胸に沖縄を出發



船旅と陸路を経てたどり着いた場所は

うっそうとしたジャングル



現在のコロニアオキナワ

- 約1000名のウチナーンチュ
- 村は3つ
- 面積は 沖縄県より広い
- 農家一戸あたり 500ha以上の土地
- 主な農作物
 - ・ 小麦
 - ・ 大豆
 - ・ さとうきび
 - ・ 米



ジャングルを切り拓いて・・・

- 現在のボリビア・コロニアオキナワは大規模農業で、豊かな村に発展
- コロニア村の沖縄1世、2世、～5世のみなさんは、今でも沖縄にルーツがあることを誇りに生きています。
- 今年、ボリビアの移民のみなさんをはじめ、世界各国から沖縄移民のみなさんが沖縄を訪れます。

世界のウチナーンチュ大会

- 6年ぶりの世界のウチナーンチュ大会の開催
- 移民の歴史を知ること、ウチナーンチュのすごさ、世界中に活躍できる場所があることを学べます。
- 自分の可能性を信じて、未来を切り拓く大宮っ子になってほしい。

みんなで世界のウチナーンチュを 迎えましょう！



二〇一六年
世界のウチナーンチュ大会
パレード